

うさぎの飼育に関する注意事項

譲受者 _____ 様

- 1 うさぎは1年間に最大で6回出産でき、1回の出産で4~8羽の子うさぎを産むほど繁殖力が強いことを十分にご理解ください。
- 2 うさぎは縄張り意識が強くケンカをするため、原則単独飼育してください。
- 3 複数飼育できる場合は次のいずれかの場合に限りです。
 - 全てのうさぎに避妊・去勢手術し、個別のケージや別の部屋で飼育する場合。
 - 性別が同じうさぎを、個別のケージや別の部屋で飼育する場合。
- 4 犬や猫はうさぎの天敵で、うさぎにストレスがかかるので、原則一緒に飼うことはできません。
- 5 うさぎは神経質な生き物なので、可愛がるあまり、触り過ぎるとストレスで死んでしまう可能性があります。
- 6 抱き方が悪いと、足でキックした時に自分で自分を骨折させてしまいます。
- 7 エサは牧草(チモシー)が中心で、新鮮な水がいつでも飲めるようにしてください。腸内細菌の関係で、絶食に弱いので、牧草は食べ放題にしてください。
- 8 排泄物の量が多いのでこまめに掃除をしてください。
- 9 うさぎの飼育には、費用と労力がかかります。年間約9万円程度かかるとも言われています。
- 10 室内飼育をしてください。うさぎにとって快適な温度は18℃~24℃といわれています。エアコン等での温度管理が必要です。
- 11 電気コードなどをおかじると感電や火災の原因となるため、危険なものをおかじることができないような対策をしてください。
- 12 うさぎを診療できる動物病院が少ないので、あらかじめ探しておいてください。
- 13 病気の早期発見のために、定期的な健康診断を受けさせてください。歯や爪のケア、換毛期には毛球症予防のためブラッシングが必要な場合があります。
- 14 多頭飼育崩壊により、近親交配されたうさぎかもしれません。内臓の奇形など目に見えない様な、今はわからない病気を持っている可能性があります。

年 月 日

説明者 _____